




第 47 期 報 告 書

---

平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日

 株式会社 エフピコ



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第47期の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

### 営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界金融市場の混乱や原油価格をはじめとする原材料価格の高騰と一転した急激な下落、さらに為替の不安定な動きもあり、第3四半期以降急激な後退局面に入り、現状大幅に冷え込んだ状態にあります。

当業界におきましては、当社主力製品の原材料及び副資材価格の大幅な値上がりにより、企業業績を取り巻く環境は、ますます厳しさを増しました。しかしながら、昨秋の金融市場の混乱以降、原材料価格は急落し、その後第4四半期後半、一部には上昇に転ずる気配を見せるなど、景気動向等も絡み、不安定な状況が続いております。食品小売業界におきましては、外食から中食、そして内食へのシフト、消費者の低価格志向など、景気減速に伴う消費動向に大きな変化が見受けられます。

このような状況の下、当社グループは、あらゆる部門で生産性向上とコスト削減に努め、企業体質の強化に取り組んでまいりました。原材料価格の値上がりに対しては、超軽量ロースタックトレーをはじめとした全製品の軽量化及び素材変更による

材料費の削減と、社内合理化によるコスト削減に取り組む一方で、自助努力のみでは限界もあり、平成20年8月から製品値上げを実施いたしました。しかしながら、第4四半期連結会計期間から原材料価格が値下がりいたしましたので、この原材料費と製品価格との乖離分につきましては、平成21年3月から、製品値下げを実施しております。

当連結会計年度における製品売上高は、製品値上げ交渉が非常に厳しいながらも決着したことやシェアの回復などにより、前期を上回りました。商品売上高は、推奨商品への絞り込みと不採算取引の見直し等を行い減収となりました。この結果、当連結会計年度の売上高は、1,282億44百万円（前期比2.2%増）となりました。

当連結会計年度の原材料費は、前期に比べ37億円の上昇となり、費用の増加は、素材切替や製品の軽量化並びに今後の成長戦略を見据えた金型及び生産設備投資等に加え、物流面における燃料費の上昇、製品アイテム数の絞り込みによる在庫処分などにより前期に比べ11億70百万円となっております。一方、素材切替、製品の軽量化、製品値上げ、新製品投入並びに生産・物流面での社内合理化等による利益改善額77億円が寄与し、当連結会計年度の経常利益は92億98百万円（前期比44.1%増）、当期純利益は53億2百万円（前期比27.5%増）となりました。

当連結会計年度の売上高、経常利益及び当期純利益はいずれも過去最高額となり、目標としておりました経営指標の1株当たり純利益250円及び自己資本当期純利益率（ROE）10%を達成することができました。

なお、当社グループの販売品目別の売上高概況は次のとおりであります。

分類	主要品目	売上高	構成比	前期比
製品	トレー容器	28,748百万円	22.4%	104.4%
	弁当容器	67,814	52.9	103.8
	その他製品	1,981	1.5	145.2
	小計	98,544	76.8	104.6
商品	包装資材	17,874	13.9	92.4
	その他商品	11,824	9.2	99.0
	小計	29,699	23.2	94.9
合計		128,244	100.0	102.2

今後も、原材料価格動向に加え、景気の後退など、先行き不透明な状況が続くなかで、当社グループにおきましては、徹底した社内合理化を継続し、原材料価格の動向はもとより需給環境の変化をも見定め、購買面からも原材料コストの削減に努めてまいります。原材料費の値下がりにつきましては、製品価格へ還元し、適正価格での販売に努めてまいります。

また、製品アイテム数の絞り込みにより、お客様のニーズを見極め、生産及び物流での効率化を図ってまいります。

当社は、平成22年3月期の連結経常利益が目標の100億円強となる目途がついたことから、このたび新しい経営体制をスタートさせました。今後は、小松会長（CEO）、佐藤社長（COO）の新体制のもとで、中期経営計画の完遂に向けて、グループ一丸となって取り組みを強化していく決意であります。株主の皆様におかれましては、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



代表取締役社長

佐藤守正

代表取締役会長

小松安弘

## 財務ハイライト

### 中長期的な会社の経営戦略

#### (1) 生産の技術革新と新製品開発

最新鋭の生産設備の導入と更新を行い、素材の薄肉化、製品の軽量化、新機能開発、新素材開発など、技術革新を推し進め、高品質で高付加価値な新製品の開発スピードを早め、一方、流通業の低価格戦略をも見据えた低価格製品の開発も行い、お客様のニーズに対応してまいります。

#### (2) 提案型企業の実現

市場の品質に対する要求の高まりや、中食市場の需要拡大、外食から中食・内食へのシフト、これら食環境の変化を先取りし、お客様のニーズに即した製品開発を行い、容器を通じて売り場の差別化を図ってまいります。

また、「エフピコ・フェア」を開催し、提案型営業の質とスピードを高めてまいります。

#### (3) 供給体制の強化

サプライチェーンマネジメント（SCM）システムのさらなる充実に努め、トータルコストの最適化を目指した生産及び物流体制の整備に取り組みトータルコストの低減に努めてまいります。

SCMを核に、全国を網羅する物流システムを最大限活用し、より高い次元で合理化された物流サービスを提供するとともに、クリーンな環境で、誤出荷などのお客様クレーム発生率5ppm（100万分の5）を目標として、鋭意努力してまいります。

#### (4) 環境経営の推進

平成22年を達成年とした「環境経営5ヵ年計画」を着実に実行し、さらに大きな目標達成に向けて、

環境経営の新中期計画「エフピコエコアクション50：FPEA-50」を策定し実行してまいります。

また、循環型の「エフピコ方式（トレーtoトレー）」を確立したエフピコならではの環境への取り組みを推し進め、自主的な回収の推進や再生トレー（エコトレー）の普及等、業界を牽引する各種施策を実施してまいります。

さらには、発泡スチロール製食品用トレーの自主的な回収に加え、新たに展開した透明容器の自主的な回収を加速し、さらなる循環型社会の形成に努めてまいります。

#### (5) 企業の社会的責任（CSR）を重視した活動

障がい者就労支援に積極的に参画し、地域社会より信頼を得るための活動をしてまいります。

また、リサイクル工場見学や展示会など様々な機会を通じて消費者の皆様とのコミュニケーションを進め、「安全・安心」をキーワードに、トレーサビリティもさらに強化し、製品の安全衛生・品質管理に努めてまいります。

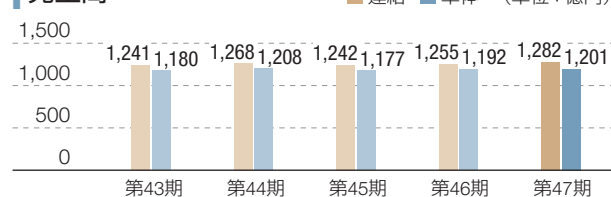
#### (6) 知的財産権の強化

当社グループの独自性・差別化を市場においてより確実なものとするため、特許や実用新案・意匠登録等の申請を進め、知的財産権の取得により企業価値を高めてまいります。

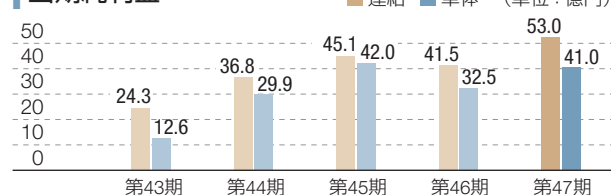
### 目標とする経営指標

株主本位の経営を実現するためにも新たな中期目標として、1株当たり純利益400円、自己資本当期純利益率（ROE）15%とし、企業価値を高めてまいります。

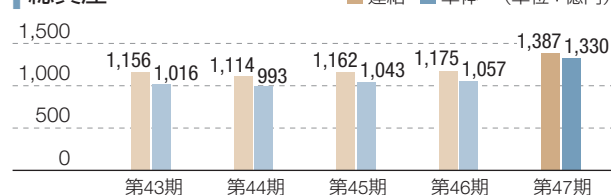
#### 売上高



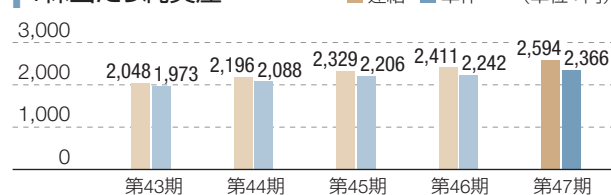
#### 当期純利益



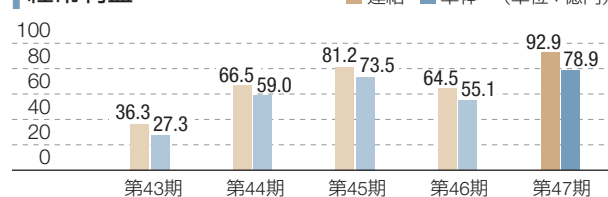
#### 総資産



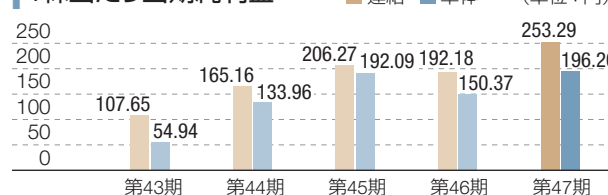
#### 1株当たり純資産



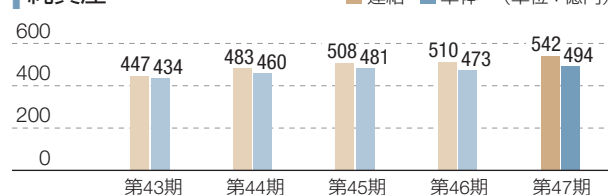
#### 経常利益



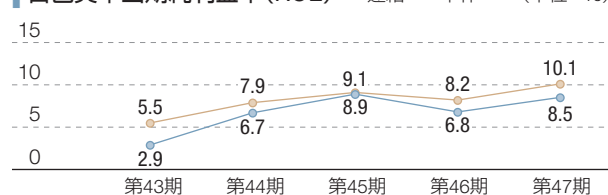
#### 1株当たり当期純利益



#### 純資産



#### 自己資本当期純利益率（ROE）



### 次期の業績の見通し

次期の連結業績は、連結売上高1,330億円、連結経常利益108億円、連結当期純利益61億40百万円、1株当たりの当期純利益293円99銭と予想しています。

## 全国4会場で「2009年春エフピコ・ミニフェア」を開催

「2009年春エフピコ・ミニフェア」を、東京、大阪、名古屋、福岡の4会場で開催し、延べ9,400名のお客様にご来場いただきました。

今回のミニフェアは、小売店様の店頭を活性化するとともに、生活者に元気を与えたいという思いを込め、「活気づくりの春。逆風だってパワーに変えよう！」をテーマに、約800アイテムの新商品を発表し、5,000パックの商品を展示いたしました。

展示商品の中でも特に注目を集めたのが、「中身の食品に宝石の輝きを与える」というコンセプトで開発した透明容器「APダイヤシリーズ」です。この商品を中心に、既存のAPET製品などを展示したコーナーでは、透明容器のフレッシュ感が食品のおいしさを引き立てることを実感していただきました。「透明」を今年のトレンドとして位置付けた

当社の考えに対して、ご理解いただけたと考えています。また、米飯・総菜売場では、新しい試みのひとつとして、容器の機能性を目で見て実感していただくために、比較展示やデモンストレーションを実施しました。

さらに、小売店様への情報提供として、全国から集めた、いま売れている商品実例を展示したところ、熱心に写真を撮影されるなど、ご来場者の高い関心を集めました。

一方、環境コーナーではエコトレーや容器の薄肉・軽量化などのエコロジーの取り組みをDVDでご紹介しました。

これらの展示や営業スタッフの説明により、当社の製品や提案、エコロジーへの取り組みに対して、ご理解を深めていただく良い機会となったと考えています。今後とも、エフピコ・ミニフェアなどを通じ、お客様への有益な提案と情報の提供を続けてまいります。



## 「北海道配送センター」が完成

2009年1月、北海道配送センターが完成し竣工式を行いました。このセンターは1階にドックシェルター付き出荷パースやパレット積みの倉庫を配置し、2階の一部は連結子会社エフピコ愛パック(株)、3階は倉庫になっています。設備面では、移動ラックを設置したほか、多品種・少量の入出荷に対応する小口対応の棚やピッキングフォークリフトを採用するなど、保管・荷役作業の効率を高める仕様になっています。北海道では、このセンターを拠点としてスピーディーな配送体制を確立してまいります。



外観

## 「九州第二工場」が完成

九州工場の敷地内に九州第二工場が2008年10月に完成しました。新工場は既存工場と接続した構造で、1階には工場と出荷場、2階は倉庫を配置しております。また、設備面では省エネ型変圧器や人感センサー付き照明などで省エネルギー化を図り、既存工場との連携により作業の効率化と職場環境の改善を図りました。



九州第二工場

## 「第1回ふくやま環境賞」を受賞



受賞者一同による記念撮影

2009年3月、「第1回ふくやま環境賞」を受賞いたしました。この賞は地球温暖化防止活動や3R推進活動などを実施する福山市内の事業者や団体を表彰するもので、当社は事業所部門で表彰されました。今回の受賞は「消費者・スーパーマーケット・問屋・エフピコの四者が協力した回収システム」などの取り組みが大きく評価されたものと考えています。これを契機として、今後ともリサイクルの推進やCO<sub>2</sub>排出抑制活動などに積極的に取り組んでまいります。

## 新商品のご紹介

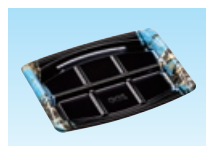
### 磯舟



少ない「けん」でもボリューム感を出せるように底面の形状を工夫した容器です。底面には仕切りの役目を果たすリブを付けているので、点数盛りの際に重宝するとともに、食品の滑りも防ぎます。また、積み重ねの際にズレないように、フタと本体に凹凸をつけています。柄は黒金柄の「きりゅう」をはじめ5種類をご用意しました。



磯舟24-12  
千歳Sブルー



磯舟25-18  
千歳Sブルー



磯舟19-12  
涼風オレンジ



磯舟25-18  
涼風オレンジ



磯舟17-11  
涼風ブルー



磯舟19-16  
千歳



磯舟17-11  
きりゅう



磯舟24-12  
きりゅう

### 京皿-新柄



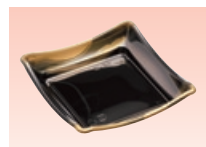
容器の全側面が波形に湾曲しており、伝統的な和陶器の四方皿を思わせる本物志向の刺身容器です。また、HI素材のもつ独特の光沢感があり、刺身や寿司だけでなく精肉、惣菜など高級感を演出したい売場に適しています。華厳の滝をイメージした「けごん」をはじめ、4つの新柄をラインナップに加えました。



京皿-40  
千歳



京皿-80  
けごん



京皿-35  
けごん



京皿-70  
流山



京皿-30  
流山



京皿-60  
出雲



京皿-20  
出雲



京皿-50  
千歳

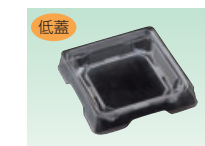
### APダイヤ



売り場の照明に当たると、宝石のようにきらめく透明容器です。容器側面のはかま形状と寿司板をイメージした四隅の大きな足が特長で、足と足の間にできた空間に指が入り商品を取りやすい構造にしています。また、ボリューム感を演出できるように底面をやや盛り上げています。種類は刺身用、寿司用、サラダ用をご用意しました。



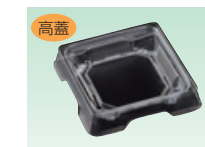
<寿司>  
APダイヤ1-5



<サラダ>  
APダイヤ19-19



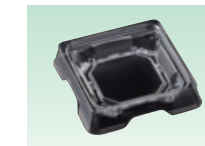
<刺身>  
APダイヤ19-16



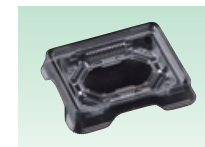
<サラダ>  
APダイヤ16-16



<刺身>  
APダイヤ23-11



<サラダ>  
APダイヤ14-14



<刺身>  
APダイヤ13-11



<寿司>  
APダイヤ2-5

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

資産の部	
科 目	金 額
流動資産	58,516
現金及び預金	16,108
受取手形及び売掛金	25,860
リース債権及びリース投資資産	100
販売用不動産	51
商品及び製品	10,912
仕掛品	21
原材料及び貯蔵品	1,313
繰延税金資産	1,276
短期貸付金	556
未収入金	2,010
その他	389
貸倒引当金	△85
固定資産	80,275
有形固定資産	73,344
建物及び構築物	29,603
機械装置及び運搬具	5,183
土地	22,865
リース資産	12,255
建設仮勘定	153
その他	3,281
無形固定資産	1,284
のれん	242
その他	1,041
投資その他の資産	5,646
投資有価証券	2,850
長期貸付金	864
繰延税金資産	761
その他	1,254
貸倒引当金	△84
資産合計	138,791

(単位：百万円)

負債の部	
科 目	金 額
流動負債	58,453
買掛金	13,744
短期借入金	30,484
リース債務	3,263
未払金	4,417
未払法人税等	2,814
未払消費税等	504
賞与引当金	1,277
役員賞与引当金	73
繰延税金負債	1
その他	1,870
固定負債	26,090
長期借入金	14,303
リース債務	9,466
退職給付引当金	1,371
役員退職慰労引当金	704
のれん	104
その他	138
負債合計	84,543
純資産の部	
株主資本	53,990
資本金	13,150
資本剰余金	15,487
利益剰余金	29,254
自己株式	△3,902
評価・換算差額等	192
その他有価証券評価差額金	192
少数株主持分	64
純資産合計	54,248
負債純資産合計	138,791

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		128,244
売上原価		93,099
売上総利益		35,144
販売費及び一般管理費		25,954
営業利益		9,190
営業外収益		936
営業外費用		828
経常利益		9,298
特別利益		164
特別損失		631
税金等調整前当期純利益		8,832
法人税、住民税及び事業税	3,954	
法人税等調整額	△435	3,519
少数株主利益		10
当期純利益		5,302

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金			評価・換算差額等合計
平成20年3月31日 残高	13,150	15,487	25,275	△3,165	50,748	218	218	56	51,023
連結会計年度中の変動額									
自己株式処分差益		0			0				0
剰余金の配当			△1,323		△1,323				△1,323
当期純利益			5,302		5,302				5,302
自己株式の取得				△737	△737				△737
自己株式の処分				0	0				0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△25	△25	7	△17
連結会計年度中の変動額合計		0	3,979	△736	3,242	△25	△25	7	3,224
平成21年3月31日 残高	13,150	15,487	29,254	△3,902	53,990	192	192	64	54,248

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△960
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	7,883
現金及び現金同等物の期首残高	8,225
現金及び現金同等物の期末残高	16,108

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

## 貸借対照表（個別）

（平成21年3月31日現在）

資産の部		金額
科 目		
流動資産		58,355
現金及び預金		15,155
受取手形		9,226
売掛金		14,280
販売用不動産		51
商品及び製品		9,686
仕掛品		12
材料及び貯蔵品		1,244
短期貸付金		5,786
未収入金		1,473
繰延税金資産		1,003
その他の金		478
貸倒引当金		△42
固定資産		74,666
有形固定資産		66,322
建物		25,679
構築物		826
機械及び装置		4,821
車両運搬具		53
工具器具備品		2,304
土地		20,658
リース資産		11,825
建設仮勘定		153
無形固定資産		1,018
ソフトウェア		785
その他の金		233
投資その他の資産		7,324
投資有価証券		2,600
関係会社株		2,089
長期貸付金		297
敷金・保証金		1,247
繰延税金資産		580
その他の金		556
貸倒引当金		△47
資産合計		133,021

（単位：百万円）

負債の部		金額
科 目		
流動負債		58,122
買掛金		12,236
短期借入金		23,541
1年内返済予定の長期借入金		9,284
リース債務		3,144
未払金		4,951
未払法人税等		2,670
未払費用		1,290
賞与引当金		527
役員賞与引当金		66
その他		408
固定負債		25,483
長期借入金		14,303
リース債務		9,292
のれん		28
退職給付引当金		1,073
役員退職慰労引当金		664
その他		119
負債合計		83,605
純資産の部		
株主資本		49,217
資本金		13,150
資本剰余金		15,487
資本準備金		15,487
その他資本剰余金		0
利益剰余金		24,481
利益準備金		667
その他利益剰余金		23,813
別途積立金		15,200
繰越利益剰余金		8,613
自己株式		△3,902
評価・換算差額等		199
その他有価証券評価差額金		199
純資産合計		49,416
負債純資産合計		133,021

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書（個別）

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金額	
売上高		120,187
売上原価		88,205
売上総利益		31,981
販売費及び一般管理費		23,906
営業利益		8,074
営業外収益		632
営業外費用		813
経常利益		7,894
特別利益		68
特別損失		605
税引前当期純利益		7,357
法人税、住民税及び事業税	3,704	
法人税等調整額	△453	3,250
当期純利益		4,107

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書（個別）

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
平成20年3月31日 残高	13,150	15,487	0	15,487	667	15,200	5,829	21,697	△3,165	47,170	224	224	47,394
事業年度中の変動額													
自己株式処分差益			0	0				0		0			0
剰余金の配当							△1,323	△1,323		△1,323			△1,323
当期純利益							4,107	4,107		4,107			4,107
自己株式の取得									△737	△737			△737
自己株式の処分									0	0			0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）											△25	△25	△25
事業年度中の変動額合計	-	-	0	0	-	-	2,783	2,783	△736	2,047	△25	△25	2,021
平成21年3月31日 残高	13,150	15,487	0	15,487	667	15,200	8,613	24,481	△3,902	49,217	199	199	49,416

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ホームページのご紹介

当社はホームページにおいても最新のトピックスをはじめ、業務報告や会社情報など様々な情報をご案内しております。

ホームページURL

<http://www.fpco.co.jp/>



トップページ



IR情報

## 株式の状況

(平成21年3月31日現在)

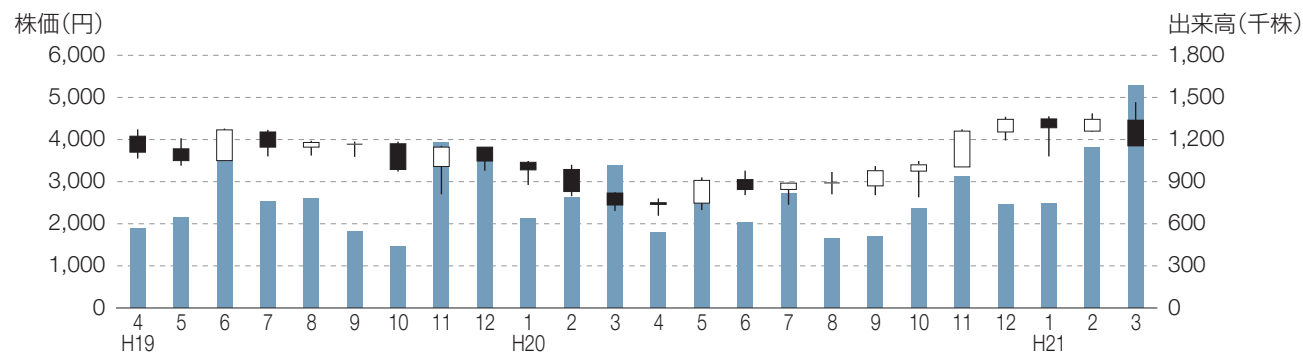
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	22,142,106株
株主数	3,511名

### 大株主の状況 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社小松安弘興産	6,041	28.93
積水化成工業株式会社	716	3.43
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	712	3.41
全国共済農業協同組合連合会	604	2.90
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	559	2.68
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4G)	508	2.44
エフピコ共栄会	469	2.25
日本スタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託積水化成工業口)	450	2.15
株式会社西日本シティ銀行	440	2.11
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(りそな信託銀行再信託分株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	381	1.83

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 出資比率は、自己株式数(1,257,441株)を控除して計算しております。

### 株価の推移



## 会社の概況

(平成21年3月31日現在)

社名	株式会社 <b>エフピコ</b> <b>FP CORPORATION</b>	資本金	13,150,625,630円
設立年月日	昭和37年7月24日	企業集団の 主要な事業内容	当社は、簡易食品容器関連事業及び商事関連事業を営んでおります。

### 企業集団の営業所及び工場

本社	広島県福山市曙町一丁目12番15号
東京本社	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
大阪支店	大阪府豊中市新千里西町一丁目1番8号
営業所	札幌(札幌市中央区) 仙台(仙台市若林区) 新潟(新潟市中央区) 静岡(静岡市駿河区) 名古屋(名古屋市中村区) 北陸(石川県金沢市) 広島(広島市西区) 高松(香川県高松市) 福岡(福岡市博多区)
工場	北海道(北海道石狩市) 東北(宮城県黒川郡) 山形(山形県寒河江市) 関東(茨城県結城郡) 関東下館(茨城県筑西市) 中部(岐阜県安八郡) 近畿亀岡(京都府亀岡市) 笠岡(岡山県笠岡市) 福山(広島県福山市) 神辺(広島県福山市) 四国(高知県南国市) 九州(佐賀県神埼郡)
リサイクル工場	北海道(北海道石狩市) 東北(宮城県黒川郡) 関東(茨城県結城郡) 中部(岐阜県安八郡) 福山(広島県福山市) 九州(佐賀県神埼郡)
配送センター	北海道(北海道石狩市) 東北(山形県寒河江市) 東日本ハブセンター(茨城県結城郡) 東京(千葉県船橋市) 中部(岐阜県安八郡) 関西(兵庫県西宮市) 福山(広島県福山市) 九州(佐賀県神埼郡)
エフピコ商事株式会社(広島県福山市)	株式会社エフピコモダンパック(広島県福山市)
エフピコチューバ株式会社(東京都新宿区)	エフピコ物流株式会社(広島県福山市)
株式会社アイ・ロジック(東京都新宿区)	株式会社ダックス(千葉県習志野市)

### 取締役及び監査役 (平成21年3月31日現在)

代表取締役社長	小松安弘	取締役	土利川泰彦	取締役	岡恒治
代表取締役副社長	佐藤守正	取締役	安田和之	取締役	江崎義隆
代表取締役専務	下田正輝	取締役	金子誠	取締役	高橋稔
常務取締役	笹部太郎	取締役	小林敏朗	常勤監査役	唐井正純
常務取締役	池上功	取締役	高西智樹	常勤監査役	藤井憲治
取締役	瀧崎俊男	取締役	高橋正伸	常勤監査役	坂田幹彦
取締役	上垣内詳治	取締役	永井信幸	常勤監査役	中居敏郎



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 株式会社大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.fpco.co.jp/">http://www.fpco.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社エフピコ

<http://www.fpco.co.jp/>

〒721-8607 広島県福山市曙町一丁目12番15号

TEL 084-953-1145 (代表)